

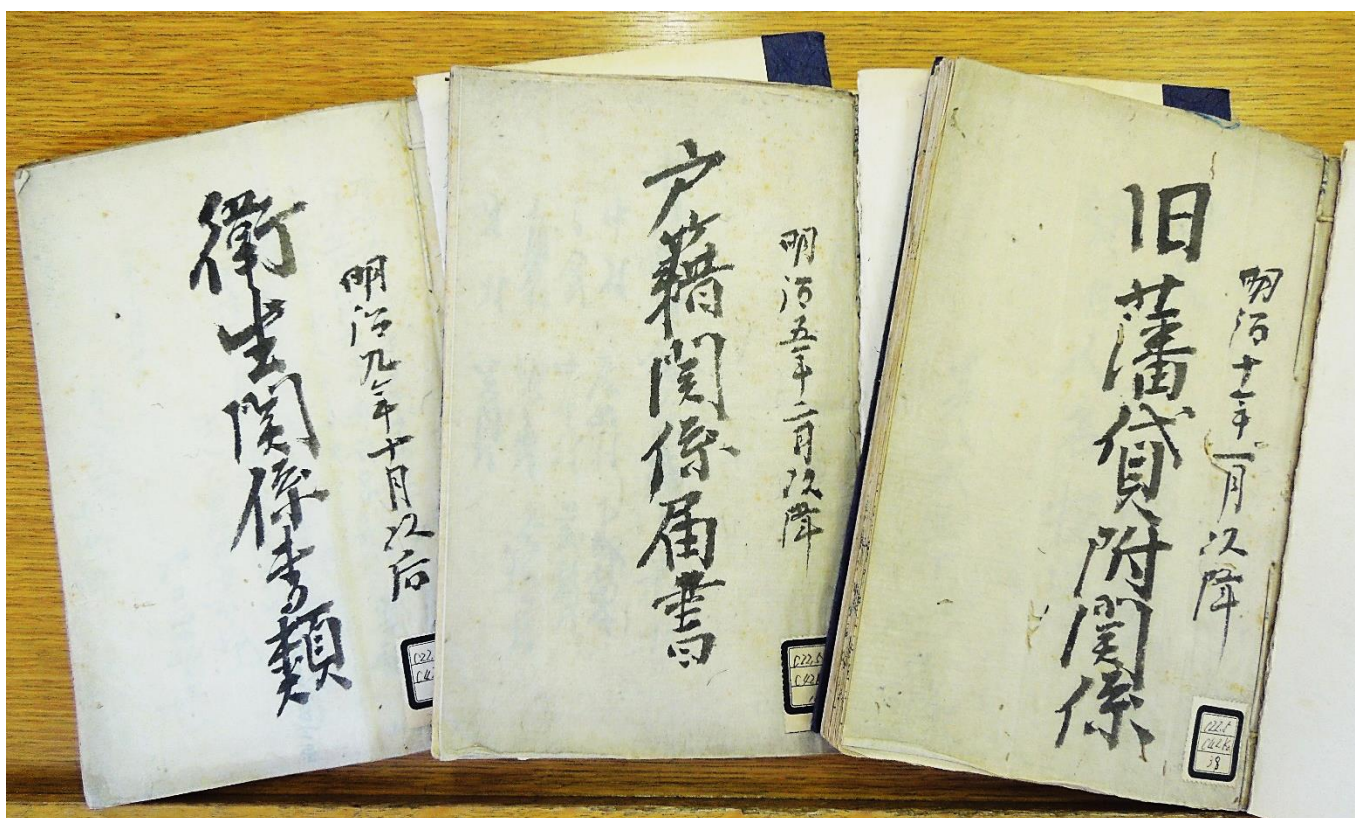
千葉文化

CHIBA PREFECTURAL CENTRAL LIBRARY

千葉県立中央図書館報

特別展示 「千葉県の明治150年」 を振り返って

平成30(2018)年は、明治元(1868)年から満150年にあたります。そのため、「明治維新150年」を記念するイベントが各地で開催されました。当館では、江戸末期から明治初期の千葉を伝える史資料の展示を開催しました。今号では、展示した史資料の中から代表的なものを紹介します。



資料散策 65 『千葉県第八大区二小区及十三小区扱所文書』(★)

千葉県は明治6(1873)年に成立しました。その翌年から4年間にわたって、戸籍調査等が行われました。その調査を行うために、県内を16大区に区分けしました。本史料は、戸籍・衛生・旧藩貸付関係など全38巻から構成されています。史料名の8大区というのは山武郡と武射郡、2小区というのは大網、13小区というのは中村(現東金市)に該当します。(本紙3頁「3 千葉県と市町村制」関連資料)

本紙の中で紹介した(★)印の資料は、千葉県立図書館ホームページ「菜の花ライブラリー」のデジタル画像でご覧いただけます。

(<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/nanohana/>)

1 明治初期の千葉県

明治政府は維新の偉業を後世に伝えるため、歴史編さん事業を計画し、各府県に対し史料の提出を求めました。各府県より提出された史料は「府県史料」と総称されています。内容は、政治部として県治・拓治・勸農・工業・刑賞・祭典・戸口など14項目、制度部として租法・職制・禄制・兵制など7項目からなります。

国立公文書館には、明治元年から明治18（1885）年までに作成された千葉県の「府県史料」が50冊残されています。当館でもその多くを所蔵しており、『千葉県歴史原稿』（★）と表題されています。

戦後、自治体史の編さんが盛んになるとともに、明治初期の地方の様子を伝える「府県史料」の資料的価値が高まってきました。

▲▼もっと詳しく知りたい方へ▼▲

「千葉県の『府県史料』 今に残る明治維新の歴史」	鎮目良文著	『房総及房総人』第795号（房総社 2001.11）に所収。
-----------------------------	-------	--------------------------------



『千葉県歴史原稿』

2 初代県令 柴原 和

明治6（1873）年6月15日に木更津・印旛の両県を廃して千葉県が成立しました。初代県令となったのは播州龍野（現兵庫県たつの市）出身の柴原和（しばはら・やわら）でした。

柴原は、行政組織の整備、教育・警察・勸業の諸政策、墮胎・間引きをやめさせる育児政策などの「文明開化」政策を推進しました。なかでも全国に先駆けて地方民会を開設するなど、現在の千葉県政の基礎をつくりました。また、宮参り・盆踊り・施餓鬼などの旧習の無用を説く論告をたびたび出したため「干渉県令」と言われながらも、風俗改良運動を展開しました。

▲▼もっと詳しく知りたい方へ▼▲



肖像写真『柴原和』所収

『柴原和』	霞城館編 (1994年)	柴原和の生いたちや龍野時代についても紹介。龍野市柴原和特別展の図録。
『初代県令柴原和とその時代』	千葉県文書館編 (1993年)	千葉県令時代の功績について簡潔に紹介する。千葉県生誕120周年記念企画展の図録。
「県令柴原和と千葉県民会」	神尾武則著	柴原和が制定した民会規則と運営を検証し、千葉県民会の実際について研究した論文（『近世国家の解体と近代』（津田秀夫編 塙書房 1979年）所収）。
『縣治實踐録』（★）	明治10年序 (1877年)	柴原和が県治上の実践と見通しをまとめたもの。
『千葉縣議事則』（★）	明治7年序 (1874年)	明治6（1873）年6月の千葉県成立直後に『千葉縣議事則』を定め、県議会を開設した。

3 千葉県と市町村制

市町村制が明治 22 (1889) 年に敷かれるまでの間には、いくつかの画期がありました。『千葉県第八大区二小区及十三小区扱所文書』(本紙表紙)が作成された当時の行政区画は、16 大区に区分けされていました。

明治 21 (1888) 年 6 月 13 日付けで町村施行に関する内務大臣の訓令が通達され、あわせて町村の合併基準が示されました。『明治廿二年千葉県町村分合資料』(★)は、明治 22 年 4 月 1 日町村制の施行までの間に千葉県内で行われた町村合併の取調書類綴・意見答申書・新町村名上申書・願書等を含む資料です。

当時県内 21 郡のうち、東葛飾郡・下埴生郡・香取郡・朝夷郡については町村別資料が欠けていますが、当時の県内の様子を伝える貴重な資料です。



『明治廿二年千葉県町村分合資料』

▲▼もっと詳しく知りたい方へ▼▲

『千葉県町村合併史』 (上・下)	千葉県地方課編著 1957 年 (1979 年復刻)	明治から昭和 32 (1957) 年までの行政区画の沿革についてまとめた。
---------------------	-------------------------------	---------------------------------------

4 重城保と『重城保日記』

重城保(じゅうじょう・たもつ)は、天保 4 (1833) 年巖根村八軒家(現木更津市若葉町)の名主・重城家に生まれました。父は至徳堂という郷学(郷校)を開設した人物で、保も幼い頃から学問を好む性格でした。

25 歳から名主を務め、維新後は木更津県郡中地券掛に任命され、千葉県成立後は第 4 大区(望陀郡)代議人となりました。明治 11 (1878) 年の県会では、議員の中から議長を公選することとなり、初代議長に選出されました。同年 7 月の郡区町村編成法制定後は、安房 4 郡の郡長等を歴任し、明治 23 (1890) 年第 1 回衆議院議員に当選しました。そして、大正元 (1912) 年 9 月 13 日に 80 歳で亡くなりました。

彼の残した膨大な日記は、『重城保日記』(全 10 巻)として刊行され、重城保の生涯はもとより幕末から明治にかけての郷土の様子を知るうえで貴重な文献となっています。



肖像写真『重城保日記物語』所収

『重城保日記』(うらべ書房 1990 年～1997 年) 巻別内容

1 巻	天保 9 (1838) 年 父継之の日記(保 5 歳) 安政 7 (1860) 年 1 月～万延元 (1860) 年 12 月(保 27 歳)、重城保の系譜、重城保の書簡
2 巻～8 巻	万延 2 (1861) 年～大正元 (1912) 年 9 月
9 巻	碑文その他、沖ノ山開墾史、重城保年譜、青崖詩鈔、青崖詩稿、遊浜日誌、重城保日記目録
10 巻	文久 3 (1863) 年、重城保日記登場人物名

▲▼もっと詳しく知りたい方へ▼▲

『重城保日記物語』	重城良造編 うらべ書房 (1999 年)	『重城保日記』をトピックごとに平易な現代文に編集したもの。
「多彩な政治家・重城保とその日記」	菱田忠義著	『重城保日記』の解説と日記をもとにした人物像の紹介。 菱田忠義著『西上総の史話』(うらべ書房 1998 年) に所収。

#“Twitter”はじめました!!

平成 30 年 10 月から公式 Twitter をはじめました。
県立図書館のイベントや、図書館の便利な使い方、
図書館員のオススの本の紹介など、毎週更新中。

https://twitter.com/chibaken_lib



資料の郵送貸出(有料)はじめました

ご自宅から図書館が遠い方、図書館の開館時間に来館ができない方等でも、
郵送(有料)で県立図書館の本を借りることができます。

【対象】 千葉県立図書館の資料貸出券をお持ちの方

【申込み方法】 郵便・FAX・メール

詳細については、ホームページまたは館内チラシでご確認ください。

【URL】 https://www.library.pref.chiba.lg.jp/information/all/post_85.html

【担当】 読書推進課 (電話) 043-222-0116

船橋市西図書館 ～ルポルタージュ千葉66～

記者は学生時代に、旧船橋市西図書館の郷土資料室に通っていました。赤いラインが印象的な建物でしたが、東日本大震災で被災し、解体されました。平成 28 (2016) 年に移転新築となった船橋市西図書館の線路側外壁を飾る赤いマリオンは、旧館への愛着を感じさせます。広い開口部から館内にそそぐ外光と、車いすの利用にも配慮したフロア設計が、くつろぎの空間を演出しています。

ギャラリーでは明治 150 年展示「資料から辿る明治時代」を開催し、旧館から引き継いだ古文書や地図の展示をしていました。古文書や地図資料の一部は、インターネット上の「船橋市デジタルミュージアム」(*)でいつでも見ることができます。

船橋市西図書館では平成 28 年の開館以来、船橋市立医療センターとの共催で「図書館で学ぶ身近な医療」を毎月開催しています。専門医による講演だけでなく、図書館の中で医師や専門家による相談会に参加することができます。船橋市西図書館は、市民の暮らしに寄り添う図書館として生まれ変わりました。(訪問日: 2018 年 11 月 29 日)

※ <https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/1220415100>



<利用案内> 〒273-0031 船橋市西船 1-20-50 TEL047-431-4385

◆開館時間

月～金 午前9時30分～午後8時、土・日・祝休日 午前9時30分～午後5時

◆休館日

毎月最終月曜日・図書整理日(7, 8月を除く毎月第2木曜日(祝休日と重なった場合は翌週の木曜日)特別図書整理期間・年末年始

千葉県立中央図書館

〒260-8660 千葉市中央区市場町 11-1 TEL043-222-0116
<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>